## 令和5年7月26日 (水) 東奥日報

## 知的財産の重要性学ぶ

校では町の名産品を活用した商品開 **座を学ぶ授業が初めて行われた。同** に携わるみらい探究コースの2年生 三戸町の三戸高校で18日、

どの創作を想定しており、商品開発 発や、今年発足したクリエイティ部 でコピーライティング、ポスターな 11人が、知的財産に対する意識の事



についてぶ三戸高の生徒ら 永沼さん(中央右)を講師 に、知的財産や著作権など

とは重要」と話した。

(珍田秀樹

であっても著作権への意識を持つこ

作っているのならば大丈夫」

適用されるが、オリジナルの原稿を

答えた永沼さんは取材に、

「高校生 一などと のか」と質問。

「基本的に著作権が

放送原稿にも著作権が適用される

同校放送局の生徒は永沼さんに

沼よう子代表弁理士が講師を務め 要性を学んだ。 法人・R・fy国際特許事務所の永 役立てることを目的に開き、 た。同町の学習コーチ、プラスティ 教育研究所の清水章弘氏も同席し ビジネス基礎の授業の一 現在取り組んでいる商品開発に 弁理士

違法コピーしたマンガを無料公開し 権法の始まりとし「これが文学の黄 の損害が生じたことや、著作権に厳 点についても指摘した。 代の著作権法が時代に合っていない ていた「漫画村」により、約2兆円 金期につながった」とした上で、 いて説明。また、15世紀にグーテン 、ルクが発明した活版印刷術が著作 いディズニーのキャラクターにつ 永沼さんは、インターネット上で